

2025年 ラ・セレナ大学日本文化イベント 「Jornadas Culturales Japonesas USerena 2025」

令和7年（2025年）2月3日

1月21日および22日、伊藤大使はコキンボ州を訪問し、日本大使館とラ・セレナ大学との共催による「Jornadas Culturales Japonesas USerena 2025」に出席しました。本イベントは、JICA（国際協力機構）との協力のもと、多数の日本企業の支援を受けて開催されました。



「Jornadas Culturales Japonesas USerena 2025」は、2007年に「チリ・日本友好週間」として始まり、今年も多彩なプログラムが実施されました。折り紙や書道のワークショップ、講演会、コンサート、さらには斬新なアクロバット演劇公演まで、幅広い分野における日本文化の紹介が行われました。

1月21日午後、伊藤大使は、ラ・セレナ大学のルペルフィーナ・ロハス学長やJICA 協力隊員と懇談し、イベントの成功に向けた関係者の尽力に感謝を述べました。その後、地元の劇団「La Cuarta Estación」による、日本をテーマにしたオリジナル公演『狐の夢』を鑑賞しました。

これに先立ち、伊藤大使は観客の皆様にあ挨拶し、日本とコキンボ州の文化交流の重要性を強調しつつ、日本企業の支援により充実したプログラムが実現したことに感謝の意を表しました。



伊藤大使とロハス学長、JICA 協力隊員、ラ・セレナ大学の関係者



ラ・セレナ市民への伊藤大使挨拶



『狐の夢』公演



劇団「La Cuarta Estación」メンバーと

翌 22 日、伊藤大使は JICA 協力隊員が指導する折り紙、書道、日本の伝統玩具のワークショップを訪問しました。今回の日本文化紹介では、これらに加え、剣道のデモンストレーション、日本の盆踊り、カレンダー展や写真展など、様々な文化行事が行われました。

このほか、ペドロ・アギーレ・セルダ音楽アカデミーのアンサンブル「心の庭」に挨拶する機会もありました。同アンサンブルは、同日夜に開催されたコンサート『久石 譲の景色』で多数の名曲を披露しました。



JICA 協力隊員による書道ワークショップ



折り紙ワークショップ

本イベントの実現にご尽力いただいたラ・セレナ大学、JICA、日本企業、出演団体など関係者の皆様に心より感謝申し上げます。ラ・セレナ大学と日本の強い絆結を通じて、両国間の相互理解がさらに深まることを願っています。



伊藤大使と「心の庭」アンサンブル



『久石 譲の景色』コンサート